



外来看護部門からのお願い

④ 泌尿器科外来



検尿について

泌尿器科は、尿路（腎臓～尿道）と男性性器、および副腎の疾患を主に対象としています。特に「血尿が出た」「排尿時に痛みがある」「尿がでにくい」「頻尿」といった主に排尿に関する症状を訴えられる患者さまが多く、そのため基本的に診察のたびに検尿があります。診察の際の重要な情報を得るための大切な検査ですので、受診時にはある程度尿が出せる状態で来院して下さい。



ただし、例外があります

尿をためて超音波検査をする方、尿の勢いの検査をする指示のある方は、採尿はしないで、溜めたままでお待ち下さい。

泌尿器の病気の予防について

■ 尿路結石

これから暑くなってくると共に、尿路結石で来院される方が多くなってきます。

尿路結石を予防するためには食事、薬物、運動療法が重要です。

外来ではパンフレットを用意し、再発予防に役立てていただけますよう、診察の際にご説明させていただきます。



他にも膀胱炎や前立腺肥大症などのパンフレットも用意しています。ご希望の方は外来窓口にご声をかけて下さい。

■ 膀胱炎

女性に多い疾患ですが、まれに男性でも起こすことがあります。生活上の注意としては、排尿は我慢しないようにし、下腹部を冷やさず、陰部は清潔に保つようにしましょう。

■ 前立腺肥大症

男性の前立腺は中高年になると、肥大して排尿障害を起こす事があります。薬で症状を抑える方法や手術で治す方法があります。また、前立腺癌との判別のためには受診時に触診と血液検査でPSA（前立腺特異抗原）値を測定します。50歳以上の男性はぜひ一度この検査をお勧めします。

（看護部 片柳 真理子）